



江別市都市計画マスタープラン2024

概要版

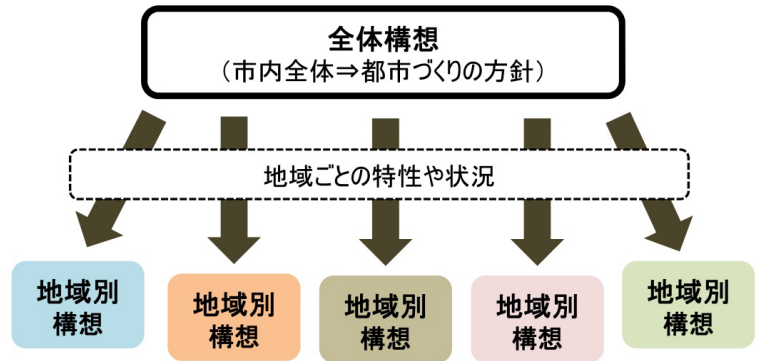
計画の目的

「江別市都市計画マスタープラン 2024」は、都市の拠点や住宅、産業などの土地利用、道路や公園などの都市施設、防災や環境などの都市環境の方針を定め、安全で安心していつまでも暮らしやすく、活力ある都市の実現を目的としています。

計画の内容

都市計画マスタープランとは、都市計画法第 18 条の 2 に位置づけられ、住民の意見を反映し、まちづくりの将来ビジョンを確立し、地域別のあるべき姿を定めるものです。

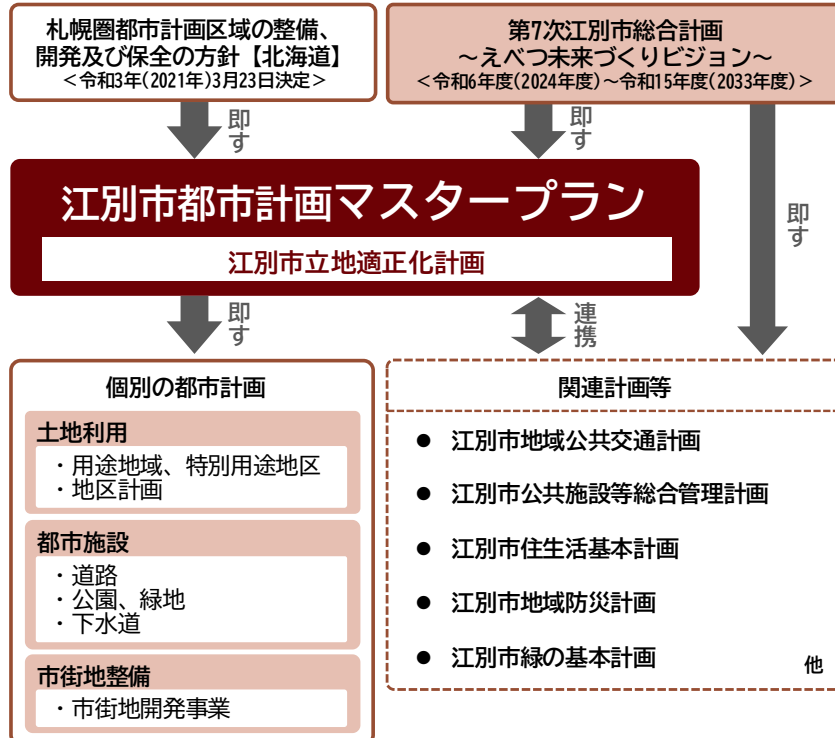
市内全体を対象とした「全体構想」と地域ごとの地理的条件や現状、歴史などを踏まえた「地域別構想」を策定します。



計画の位置づけ

本計画は、本市の最上位計画である「第7次江別市総合計画」及び北海道が定める都市計画の方針である「札幌圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即するものとし、他の関連計画などと連携を図ります。

また、今後想定される人口減少を見据え、コンパクトで持続可能な都市づくりを一層推進するため、都市計画マスタープランの一部とされる「立地適正化計画」を同時に策定します。



目標年次及び対象区域

目標年次	10年後の令和15年度(2033年度)を目標年次とします。
対象区域	都市計画区域(江別市全域)を対象区域とします。

将来都市像と都市づくりの基本目標

本市の最上位計画である「第7次総合計画」に基づき、目指す都市将来像を設定しました。

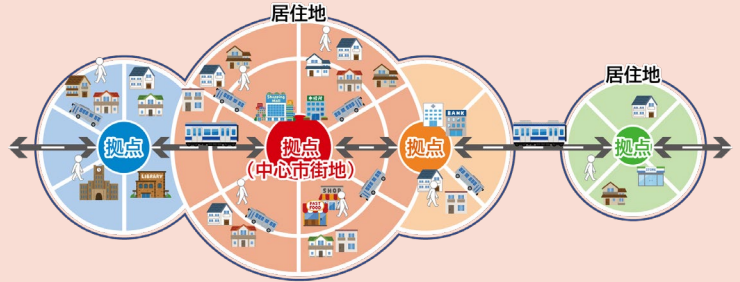
＜将来都市像＞ 幸せが未来へつづくまち えべつ

将来都市像や求められる都市づくりを踏まえ、都市づくりの基本目標を5つ設定しました。

1. 駅周辺を拠点とする集約型都市づくり

～えべつ版コンパクトなまちづくり～

- 拠点と他地域が連携することで、効率的で持続可能な都市を目指す。
- 拠点に都市機能を誘導し、拠点間の連携を深めることで賑わいの向上や循環を図る。
- 歩いて暮らしやすい都市づくりを目指す。



2. 江別の優位性を生かした経済の発展

- 交通の優位性や本市の特色を生かした産業振興を図る。
- インターチェンジ周辺や幹線道路沿線など地域特性を踏まえた土地利用を検討する。

4. 江別らしさを生かした住みよい都市づくり

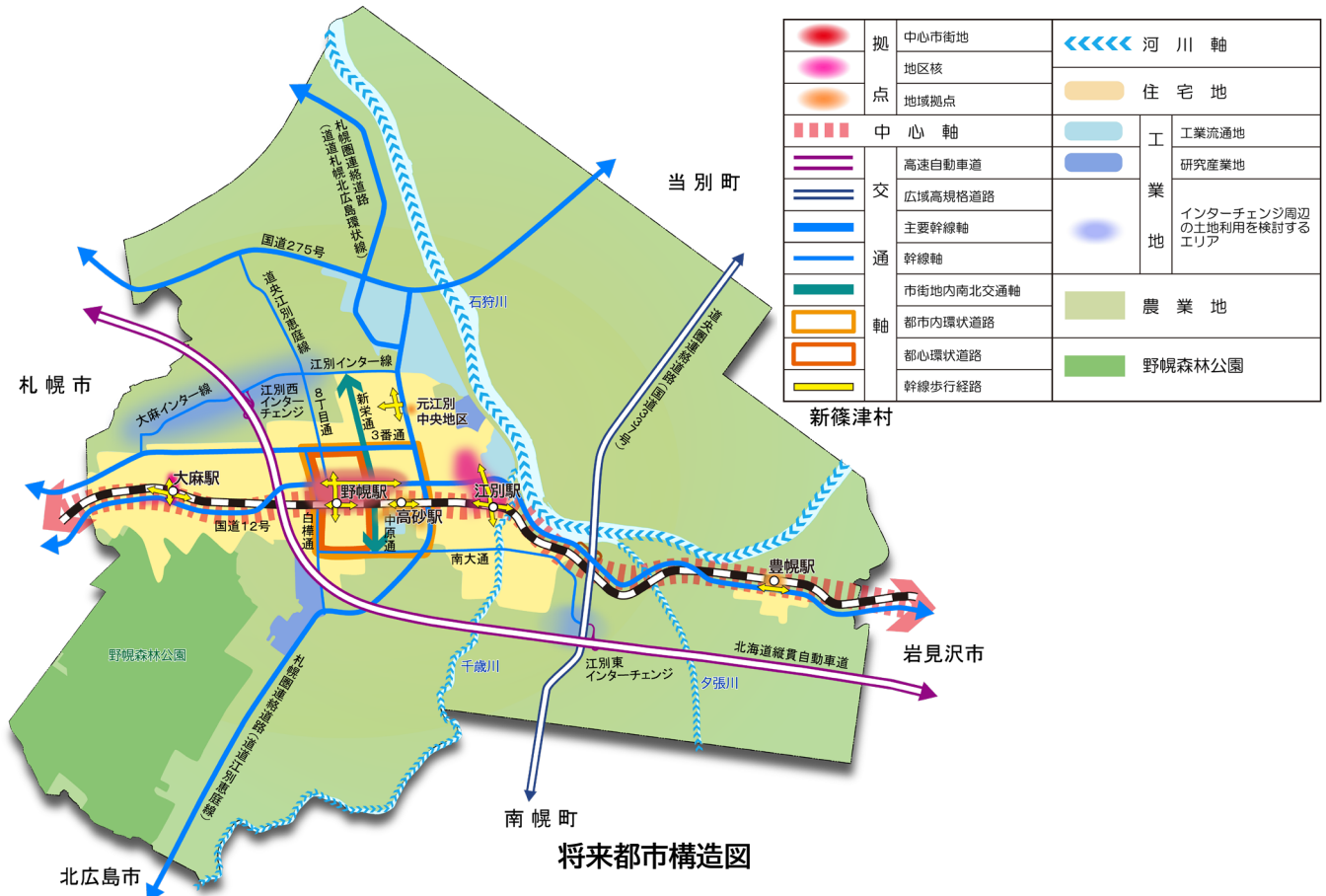
- 特産品や教育環境、都市近郊型農業などの特性を生かし、魅力ある都市づくりを進める。
- “誰もが住みやすいまち”として選ばれるような都市環境の形成を図る。

3. 災害に屈しない強靱な都市づくり

- 災害時にも一定の都市機能を維持できるよう都市の強靱化を図る。
- 既存ストックの機能強化や老朽化対策などを推進し、災害対策強化を図る。
- 関係機関の連携強化や避難に関する周知・啓発を行い防災体制の充実や強化を図る。

5. 自然豊かで環境にやさしい都市づくり

- 良好な自然環境を適正に保全し、自然環境との共生を図る。
- 環境負荷の低減や再生可能エネルギーの活用など、環境にやさしい都市づくりを目指す。



都市づくりの方針

■土地利用の方針

駅周辺を拠点とする集約型都市づくりに向け、本市の自然や地形、市街地形成の経緯、今後の人口減少や少子高齢化の見通し等を踏まえ、便利で快適な市街地の形成や誰もが暮らしやすい住環境の形成に努めるとともに、本市の優位性や交通利便性などの地域資源を生かした産業振興に寄与する土地利用を進めます。

拠点	中心市街地	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 都市機能の充実や土地の複合・高度利用 ❑ 都市機能誘導区域内への多様な都市機能の誘導
	地区核	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 都市機能の充実と地域特性を踏まえた魅力ある都市空間の形成
	地域拠点	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 地域の日常活動の拠点として、生活関連機能などの充実
住宅地	一般住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 住みかえ・移住などの支援の推進 ❑ 空き家等への対策を推進
	専用住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ❑ ゆとりある低密度住宅地の形成を目指す ❑ 生活利便施設などの立地により、暮らしやすい住宅地の形成を図る
幹線道路沿道地		<ul style="list-style-type: none"> ❑ 商業業務施設や集合住宅などが調和した土地利用
工業地		<ul style="list-style-type: none"> ❑ 道路の整備による需要の変化や企業ニーズを踏まえた土地利用を検討 ❑ 東西IC周辺やアクセス道路沿道などは、交通環境の優位性や地域特性を生かした、まちの魅力向上につながる土地利用を検討
商業業務地		<ul style="list-style-type: none"> ❑ 多様な機能が集積する拠点商業業務地の高密度利用 ❑ 歴史性や界索性などを踏まえた地域商業業務地への機能集積 ❑ 幹線道路沿道での分散的な沿道商業業務地への都市機能立地
市街地周辺部		<ul style="list-style-type: none"> ❑ 優良な農地を保全し、食料生産基地として土地利用を図る ❑ 河川敷地は、治水機能や生態系保全のほか、親水空間としての役割を担う ❑ 市街地と農業の交流が生まれる環境の創出 ❑ 野幌森林公園は、「緑の要」として位置づけ、保全と活用

	拠点	中心市街地		都心地区
	地区核			文教地区
	地域拠点			公園・鉄道林
	一般住宅地			幹線道路
	専用住宅地			高速自動車道
	工業	製造・加工・流通業等		公共施設
	業	先端技術・食品関連業等		高等学校
	地	インターチェンジ周辺の土地利用を検討するエリア		大学
	農業	農業地		
	河川			
	野幌森林公園			
	酪農学園大学等用地			



土地利用の方針図

■都市施設の方針

都市施設は、市民の利便性の向上や良好な都市環境を確保する上で必要な根幹的な施設であり、誰もが快適に生活できる環境の形成のため、引き続き計画的な都市施設の整備を行います。

道路	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 完成に近づきつつある道路網の整備を引き続き推進 ❑ 既存道路施設の機能強化、修繕・補修を計画的に推進 ❑ 安心して歩行等により移動できる通行空間の確保に努める
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 市民ニーズを取り入れた施設整備や地域住民との協働による取組を進める
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 持続可能な公共交通ネットワークの構築
公共・公益施設	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 施設や機能の複合化・集約化 ❑ 市営住宅の更新と長寿命化
上下水・処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 老朽化した施設の延命化、計画的な改築・更新



都市施設の方針図

■都市環境の方針

本市の特徴である自然、歴史、文化などの地域資源を生かしながら、良好な都市環境の形成を図ります。

都市防災	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 河川の堤防強化及び内水排除施設の整備など ❑ 指定避難所や防災拠点、要配慮者利用施設等の耐震化 ❑ 災害時に備えた情報発信や防災訓練の実施 ❑ 市民・事業者・行政の適切な役割分担による除排雪に努める
景観	<ul style="list-style-type: none"> ❑ れんがのまちにふさわしい都市景観の形成 ❑ 良好な都市景観の表彰などにより市民等へ景観意識の啓発や活用を図る
環境	<ul style="list-style-type: none"> ❑ 野幌森林公園や石狩川、樹林地、郊外の河畔林などの保全と質の向上に努める ❑ まちのコンパクト化や公共交通利用促進などによる脱炭素化

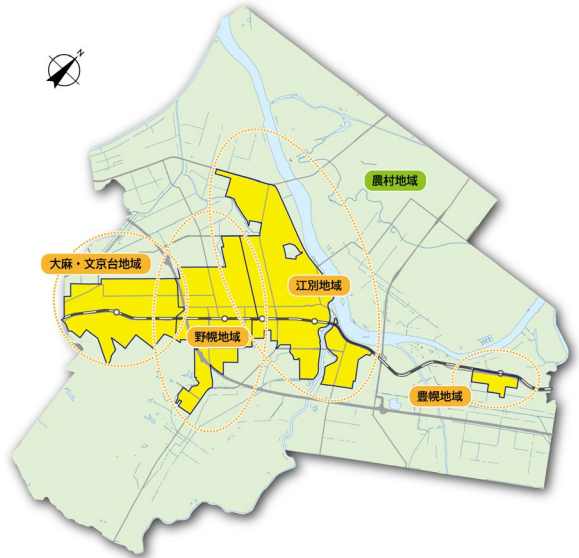
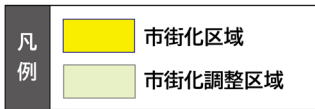


都市環境の方針図

地域別構想

「地域別構想」は、地域単位のより身近な生活空間の整備方針であり、全体方針の枠組みを踏まえ、各地域の特性に応じた地域づくりの方針です。

地域区分は、地域の歴史、発展の形態、地理的条件、これまでの形成経過や住区構成などを踏まえて、江別地域、野幌地域、大麻・文京台地域、豊幌地域、農村地域の5地域とします。



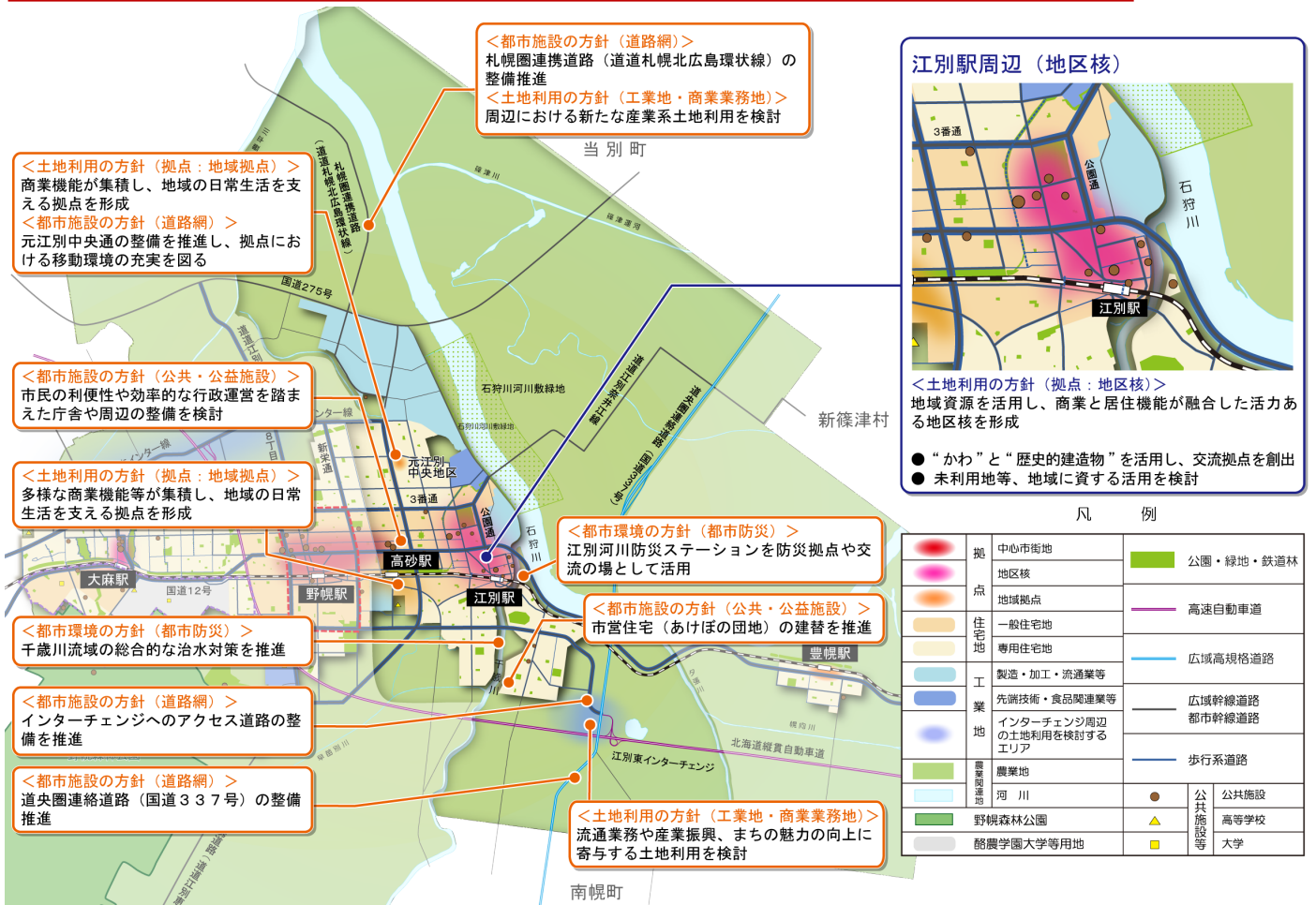
地域区分

01 江別地域

江別駅周辺の歴史性、良好な河川環境などの特性を生かして地域の魅力を高め、また、交通環境における優位性などを生かした地域づくりを進めます。

■地域づくりの目標

- 目標1：地域資源の活用により“にぎわい”を創出し、「商」と「住」が融合した活力ある地区核を形成
- 目標2：交通の優位性を生かした土地利用や産業の活性化に資する物流道路網の整備を推進
- 目標3：治水対策の継続・強化と良好で魅力的な住環境を形成



江別地域の方針図

02 野幌地域

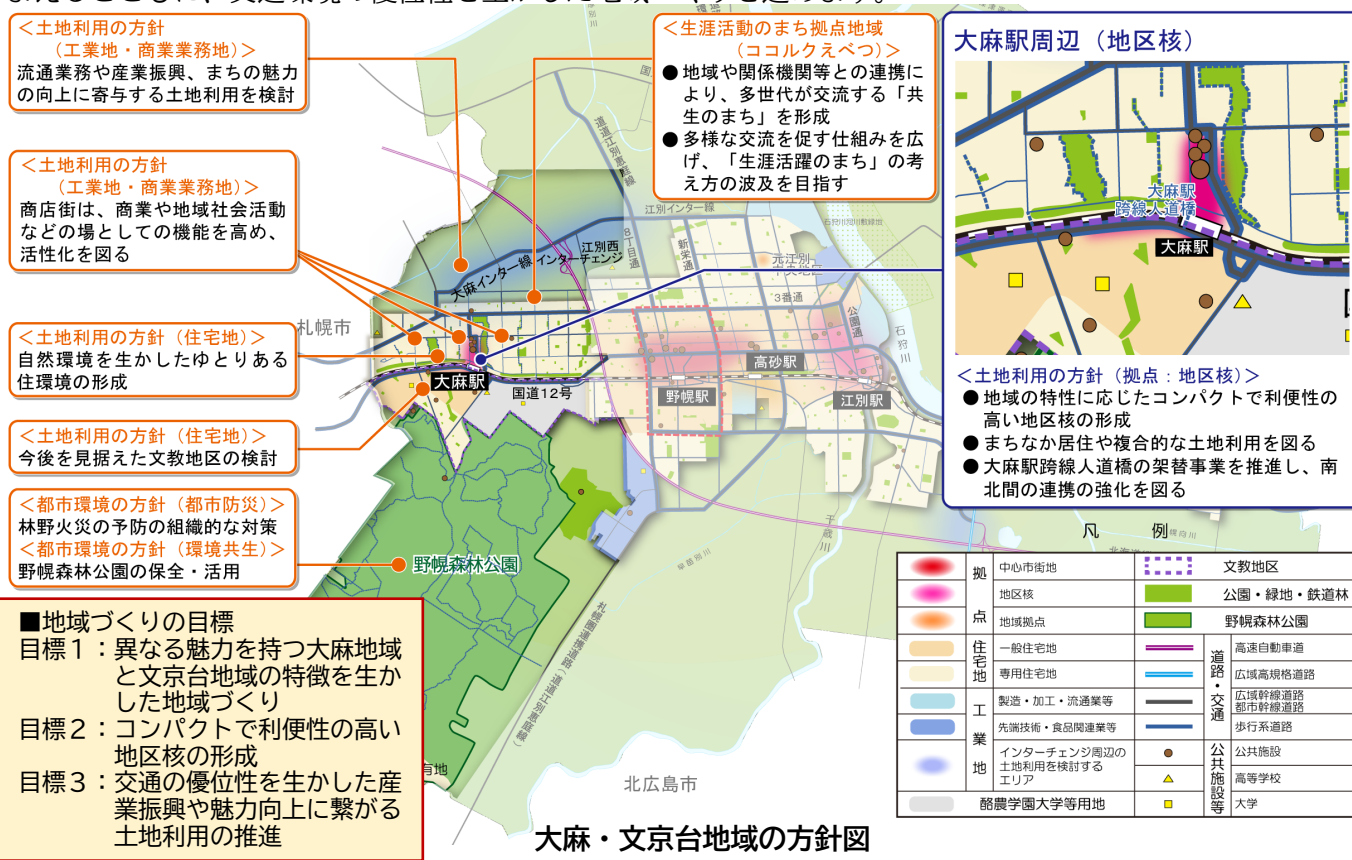
野幌駅周辺を中心市街地として、地域の魅力を高めるとともに、交通環境などの優位性を生かした地域づくりを進めます。



野幌地域の方針図

03 大麻・文京台地域

大麻地域の良好な住環境と特色ある商店街、文京台地域の大学や研究機関など、それぞれの地域特性を踏まえるとともに、交通環境の優位性を生かした地域づくりを進めます。



大麻・文京台地域の方針図

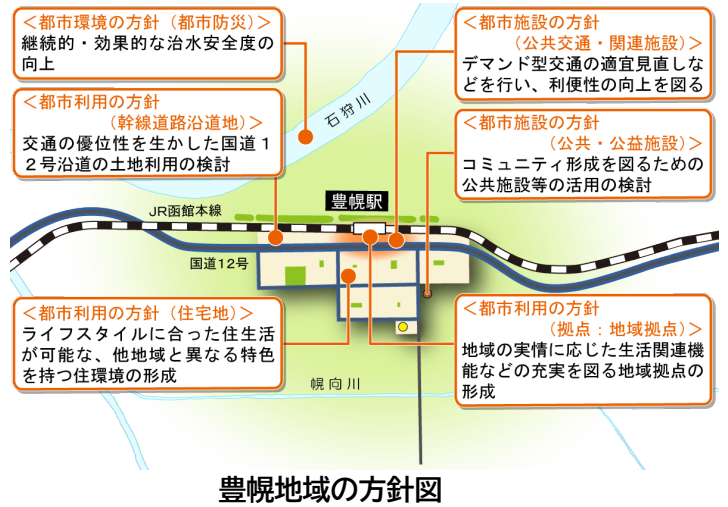
04 豊幌地域

継続的な治水対策による安全・安心な地域づくりを進めるとともに、豊かな自然環境や農村景観などに恵まれた特性を生かして地域の魅力を高めます。

- 地域づくりの目標
- 目標1：継続的な治水対策と地域防災力の向上
 - 目標2：自然や農村環境などを生かしたゆとりある住環境を形成するコンパクトな地域づくり
 - 目標3：周辺住環境と調和した地域の実情に応じた地域拠点の形成

凡 例

	地域拠点
	専用住宅地
	公園・緑地・鉄道林
	歩行者通行路線
	広域幹線道路 都市幹線道路
	公共施設
	小学校



豊幌地域の方針図

05 農村地域

食料生産基地として、農地の保全を基本としながら、良好な自然環境、農村景観や都市との近接、交通利便性などの優位性を生かした地域づくりを進めます。



農村地域の方針図

- 土地利用の方針 (農業地)
- 優良な農地の保全や食料生産基地として都市近郊型農業を推進
 - 良好な生活環境の維持・向上
 - 農家レストランや直売所などのグリーン・ツーリズム施設整備を推進
- 土地利用の方針 (社会情勢の変化や新しいニーズへの対応)
- 市街化区域内に立地することが馴染まない機能や地域の特性を生かす土地利用を、農業等と調整を図りつつ検討
- 土地環境の方針 (都市防災)
- 河川の堤防強化及び内水排除施設の整備など継続的・効果的な治水安全度の向上
- 土地環境の方針 (景観)
- 自然景観や農村景観など良好な景観の保全・活用を検討

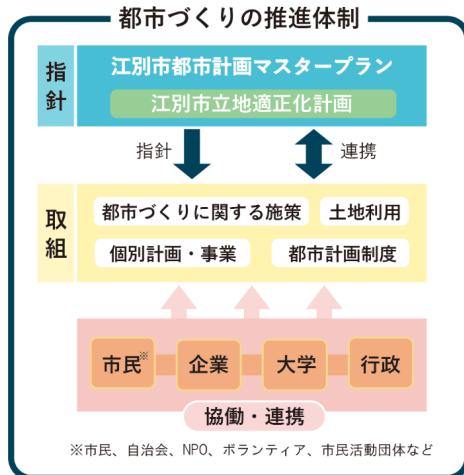
凡 例

	インターチェンジ周辺の土地利用を検討するエリア
	公園・緑地・鉄道林・耕地防風林
	高速自動車道
	広域高規格道路
	広域幹線道路 都市幹線道路
	歩行系道路
	公共・公益施設
	小学校
	中学校

- 地域づくりの目標
- 目標1：地域の特性を生かした都市近郊型農業の推進
 - 目標2：農業を生かした都市との交流を促進する土地利用の推進
 - 目標3：産業振興に寄与する地域資源や既存施設の活用の推進

計画の推進

本計画の方向性を踏まえ、今後の少子高齢化や社会経済情勢の変動などに対応するため、市民や企業等と連携し協働の取組を進めます。



江別市都市計画マスタープラン2024
 令和6年3月策定
 (江別市企画政策部都市計画課：
 TEL 011-381-1038)